

補助事業番号 23-4-029

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災者支援拠点づくり活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 こころの応援団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

福島第一原子力発電所の事故により、大きなストレスや不安を募らせ、群馬県に避難された方々に対し、当会が開催するサロンに避難先から送迎車にてお招きし、普段の避難場所では他の避難者手前なかなか話せない内容を話したり、行政の担当者にはなかなかぶつけられない不満や要望などを遠慮無く話せる環境を整え、気分転換や少しでも不安を取り除ける場所づくりを目指すと同時に、避難者の心のケアに繋げ、また災害弱者といわれる高齢者や障害者の孤立を防ぐ活動に繋げていくことを目的とします。

(2) 実施内容 (<http://www.npo-kokoro.com/houkoku/sinsai/sinsai.html>)

群馬県北部の7市町村に避難されている福島県の方々の心のケアを行うために、当会が協力関係のNPO法人の施設に避難されている方々を招きお茶を飲みながら、不安や不満などを語っていただき、少しでも気持ちを軽くしていただくという事業を計画しましたが、9月中旬になると避難者の方々が2次避難施設や仮設住宅に転居したため計画変更を行い、こちらから避難者が集まりやすい施設に出向きサロンを開催しました。

サロン開催時には近隣に住む避難者の送迎サービスを実施したり、県内の借上げ住宅に移り住んだ方々に対してはや病院や買い物への送迎サービスも同時に行いました。10月以降は群馬県から福島県の仮設住宅に移動した方たち向けのサロン事業を行い、点在する仮設住宅からの送迎サービスを行い、時には大型バスを使い日帰り温泉施設でのサロン開催など避難者の方々の希望をできる限り取り入れた活動を展開することができました。

また、多くの方々の悩みや相談を個別に受け問題解決したケースも数多くありました。



南相馬市の仮設住宅でのサロンの開催



群馬県に避難されている方を招いたサロンの開催



仮設住宅からの送迎サービス

2. 予想される事業実施効果

今回の事業により、長期間に渡り避難者一人々と向き合い対応してきたことにより、当法人スタッフが不安や悩みを抱えながら生活する避難者からの信頼を得て、本音の声を聴けるようになりました。今後は当法人の独自の活動になり、細々では有りますが、避難者の方々が2次避難施設や仮設住宅を離れられる時が来るまで、この活動を続け、避難者の方々に寄り添い、見守り続け、孤立に伴う大きな問題を回避できたらと考えております。

3. 本事業により作成した印刷物

本事業による印刷物作成は無

(当法人独自作成印刷物：サロン開催案内パンフレット・当法人定期発行通信（だんだん通信）)

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人 こころの応援団
住 所 : 〒379-1403
群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉 1514-1
代 表 者 名 : 会 長 千代田すみ子 (チヨダ スミコ)
担 当 者 名 : 事務局 高桑 春雄 (タカクワ ハルオ)
電 話 番 号 : 0278-66-0999
F A X : 0278-66-1000
E - m a i l : office@npo-kokoro.com
U R L : <http://www.npo-kokoro.com>